

キャラクター名
ヴェロニカ(Veronika)

プレイヤー名

シンドローム	ブラム=ストーカー サラマンダー	ワークス	レネゲイドビーイングD	カヴァー	UGN支部長
オプション		年齢	29歳(外見年齢)	性別	女
覚醒	感染	衝動	吸血	初期侵食率	43%
出自	人類への興味	経験	別離	邂逅	主人

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	28
肉体	3	0	0			3	行動値	6
感覚	2	0	0			2	(非装備時)	6
精神	2	0	0			2	戦闘移動	11
社会	1	1	3			5	全力移動	22

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC	1		交渉	1	
回避	1		知覚			意志	6		調達	4	
運転:			芸術:			知識:			情報: UGN	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
クリスタルシールド	白兵	3r-1	12	0		ウェポンケースによりオートで装備可。
<従者作成>※1シーン3体まで						
④+⑤ (セットアップ)						

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
ウェポンケース	
情報収集チーム	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
黄昏の支配者 (ブラム=ストーカー専用)	P	N		
協力者 (シナリオロイス)	P 同情	N 食傷		
友人	P 執着	N 不安		
霧谷雄吾	P 慕情	N 不信感		
トマス・アキナス	P 純愛	N 猜疑心		
御巫 研太	P 誠意	N 疎外感		
神城 真	P 幸福感	N 恐怖		

最大財産P: 18 残り財産P:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
コンセントレイト:ブラム=ストーカー	1	2	メジャー	-	-	-	-	
効果: 組み合わせた判定のC値を-Lvする。下限値8。								
ヒューマンズネイバー	1	-	常時	至近	自身	自動	RB	
効果: 衝動判定ダイス+Lv個。基本侵蝕率を+5する。								
オリジン:ミネラル	3	2	マイナー	至近	自身	自動	RB	
効果: シーン間、自身の装甲値を+[Lv×2]する。								
従者の行進 (黄昏の支配者)	2	5	セットアップ	至近	自身	自動	Dロイス	
効果: 《赤色の従者》を使用して、[未行動]状態の従者を作成する。他エフェクトとの組み合わせ不可。1シナリオLv回まで使用可。								
赤色の従者	5	5	メジャー	至近	自身	自動	-	
効果: 自身と同エンゲージに従者を1体作成。従者はすべての能力値が3、最大HPが[Lv×5+10]になる。従者は1シーン1体まで作成でき、そのシーン間存在する。従者がシーンに存在する間、自身のあらゆる判定のダイスを-3個する。								
声無き子ども	2	-	常時	至近	自身	自動	-	
効果: 1シーンに作成する従者を+Lvする。侵蝕率によるレベルアップの恩恵を受けない。エフェクト取得時に侵蝕基本値が+7される。								
炎陣	1	2	オート	至近	自身	自動	-	
効果: ダメージロールの直前に使用可。カバーリングを行うが行動済みにならず、行動済みでも使用可。1メインプロセスに1回まで使用可。								
氷盾	3	3	オート	至近	自身	自動	-	
効果: ガードを行う際に宣言。自身のガード値を+[Lv×5]する。								
氷の回廊	1	2	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果: 飛行状態で+[Lv×2]mの戦闘移動。								
白雪の守護	2	3	オート	至近	自身	自動	-	
効果: HPダメージが適用される直前に使用可。自身が受ける(予定の)ダメージを-(Lv)D点する。1ラウンド1回まで使用可。								
氷の理	1	-	メジャー	至近	効果参照	自動	-	
効果: 触れた物体を冷やす。必要に応じて<RC>判定。								
効果:								
効果:								

オーヴァードとジャームによる攻防の影響でレネゲイドウィルス感染し、RBとして覚醒した氷塊。

過去にロシア支部の支部長として尽力していたが任務失敗により仲間が殲滅され、自分ひとりだけが生き残ってしまった。贖罪の想いからしばらく隠居していたものの、友人のたつての願いでSS支部への異動を許諾した。かつての過ちを繰り返さないため任務の遂行に執着し、自他ともに厳しく接している。また、別れが辛くなるので必要以上の慣れ合いも避けるようになった。

人の姿を保っていても熱いものは苦手。溶けちゃう。